

図表A(1):8、フローリングの特性対比

	床暖房用フローリング	一般フローリング
熱への耐性・寸法安定性	熱による伸縮・反り・目隙・割れが起きにくい	床暖房においては反り・目隙・割れ・接着不良が起きやすい
熱伝導性	熱を通しやすく熱効率が高いので立上りが早く、ムラが少ない	断熱材のように熱を遮るので、冷暖房効率が劣る
表面仕上げ・塗装	- 耐熱塗装なので高温でも塗膜劣化が起きにくい - 変色や臭気が生じにくい	- 高温では塗膜劣化が生じやすい - 変色や臭気が生じやすい
接着・施工方法	- 床暖房対応接着剤の使用 - 厳密な施工マニュアル - 伸縮を見越した施工寸法	- 通常接着剤・釘施工 - 温度変化を想定していない
メーカー保証	- 床暖房において保証対象 - 反り・割れ・塗装劣化については条件付保証	床暖房の場合は保証外
FRaTacsとの相性	◎	×



260720三政物産株式会社

A(1):8
FRaTacsは、床暖房仕様の体育館用フローリングを指定材料としています。また、ササクレ抑制機能付きフローリング材を推奨します。

- 一般に木材は周囲の温湿度や木材の水分率の変化に応じて膨張と収縮を繰り返し、その寸法も変化します(注)。そのため、FRaTacsの床仕上げ材については、原則、熱効率が良い床暖房仕様の体育館用フローリング(t12～15mm)を指定材料とします。
- FRaTacsが要求するフローリング性能(図表A(1):8)
 - ①温度変化に対する寸法安定性に優れ、反り・目隙・割れ等の不具合発生リスクを低減する。
 - ②床冷暖房の熱を効率的に伝達し、室内のドラフトを抑制することで、経済的で快適な温熱環境を実現する。
 - ③体育館用途に求められる耐久性・衝撃吸収性・反発性・滑り抵抗性に適合する。
 - ④長期的なメンテナンス性に優れ維持管理においてコストの低減が期待できる。

注：「消費者安全法第23条第1項の規定に基づく事故等
原因調査報告書_体育館の床板の剥離による負傷事故」
消費者安全調査委員会、平成29年5月29日。